科目名	精神看護学課題研究Ⅰ Special ResearchⅠ in Psychiatric and Mental Health Nursing	担当教員 (研究室番号)	未定	教員への連絡方法 (メールアドレス)	未定

履修年次	1年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	分野 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	特別研究	科目等履修生	否
										遠隔授業	全部

科目目的	本科目は、精神看護学分野のＣＮＳ実習や臨地指導実習などから生じた疑問について文献等を抄読し、事例研究や事例報告あるいは文献レビューとしてまとめるテーマの設定やテーマに沿った計画を立案するプロセスを学ぶことを目的としている。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	６．看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。 ７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。 ※臨地教育者コース：６　専門看護師コース：７
	関連するDP	３.地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。
到達目標	１．これまでの学習をもとに、精神看護学領域におけるＣＮＳあるいは臨地教育に関する研究課題を設定することができる。 ２．研究課題を解明するために必要な研究方法を選択し、研究計画を立案することができる。 ３．必要に応じて研究計画書に倫理的配慮を含めることができる。	

成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション（50%）、研究計画（40%）、取組み状況（10%）
教科書	特に指定しない。
参考書等	必要時に提示する。
受講者へのメッセージ	
備考	１年次後期に中間審査を受審することが望ましい。

学　習　内　容

【到達目標１について】
・これまでのＣＮＳ実習や臨地教育実習における疑問をゼミナールの中で発表し、自己の研究疑問の方向性を明らかにする。
・自己の研究疑問に関する文献検討を行い、概念の整理と課題の背景を明確にすることから研究課題を特定していく。

【到達目標２について】
・研究課題に最も適した研究方法を選択し、研究計画として立案する。研究計画書の様式は「中間審査研究計画書」を用いる。

【到達目標３について】
・研究倫理審査の受審も見据えて倫理的配慮についても検討し、必要に応じて研究計画書に反映させる。